



常設展示用ワークシート



マップA (日本橋)

日本橋を渡ってみよう

- Q1 江戸時代の日本橋の長さは、約何メートルだったでしょうか。
- あ 25メートル い 51メートル
- う 80メートル

A 江戸の日本橋
シンボル

江戸東京博物館の常設展示室に入ると大きな橋がかかっています。これは、江戸時代につくられた日本橋の幅はそのままに、長さを半分にして復元した模型です。日本橋がかけられたのは、徳川家康が江戸に幕府を開いた1603年のことです。日本橋は、発展する江戸の象徴でした。

- Q2 日本橋の名の由来にはいろいろな説がありますが、「」に当てはまる言葉を考えましょう。
- Q3 写真の一部が抜けていますが、何という部分でしょうか。
- また、抜けているところに絵を描いて橋を完成させましょう。

H 江戸一番の盛り場 両国

両国橋はとてにぎやか

Q1 この模型にある橋の名前は何でしょう。

Q2 この写真は、屋台で天ぷらを買っているところです。このほかにもどのおもしろいものが売られていたのか、模型を手がかりに調べてみましょう。

マップH (両国橋西詰)



橋の名前

6F

車いす・ベビーカー専用のエレベーターです。警備員が誘導します。



5F

車いす・ベビーカー専用のエレベーターです。警備員が誘導します。

江戸東京博物館
常設展示室
案内マップ

出口は5Fです。
ほく、ギボちゃん。
日本橋の欄干擬宝珠がモデルだよ。

日本橋から
みてみよう

B 芝居小屋・中村座

Q1 日本橋の脇に見える建物は、江戸時代の代表的な歌舞伎の芝居小屋である中村座の正面部分を復元した模型です。ここでは、人々が日常を忘れて歌舞伎の世界を楽しみました。

Q2 写真の★で示したものは、屋根の上に設置された「天水桶」と呼ばれるものです。ここには雨水がためられていたのですが、何のために使われたと思いますか。当てはまるものを選びましょう。

- あ 水不足
- い 農業
- う 消火



マップB (中村座)

これは櫓といい、幕府が歌舞伎の上演を認めた目じるしでした。櫓にはそれぞれの芝居小屋の座紋が入っていました。

C 大名屋敷と町人地

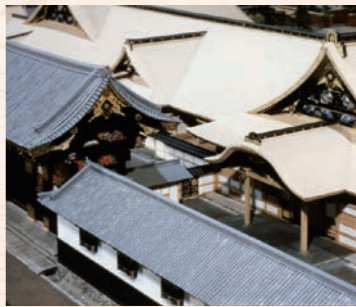
くらべてみよう

寛永期の江戸における大名屋敷と町人屋敷には、それぞれ特徴がありました。

Q1

模型「寛永の大名屋敷」と模型「寛永の町人地」にある町人屋敷を比べると、どのような違いがあるでしょうか。それぞれ書き出してみよう。

マップC〈寛永の大名屋敷〉



◆ 住人はだれか…

[] []

◆ 建物の大きさ…

[] []

マップC〈寛永の町人地〉



◆ 住人はだれか…

[] []

◆ 建物の大きさ…

[] []

D 大名駕籠にみよう

くらべてみよう

参勤交代によって全国の大名は、江戸にも屋敷を作り、領地との間を往復することになりました。車も電車もない時代、全国の大名たちは駕籠に乗って江戸にやってきました。この駕籠は、美作国津山藩(現在の岡山県)の藩主が実際に使った駕籠を複製したものです。

Q1

この駕籠は何人かついだのでしょうか。

[] 人

Q2

駕籠の重さは、およそどれくらいだと思いますか。

う あ
100 kg 30 kg
い 60 kg

Q3

参勤交代は、どのような目的を果たしたのでしょうか。当てはまるものを二つ選びましょう。

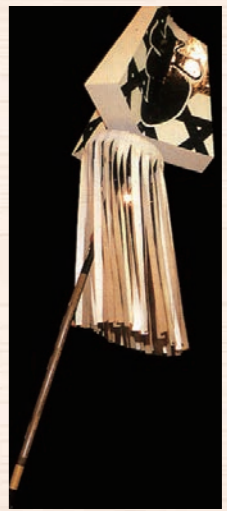
あ 将軍への挨拶
う 外国との貿易
い 領地で城を新しく建てたこと報告

マップD〈大名の駕籠〉



E 体験しよう!

くらべてみよう



マップE〈まとい〉

Q1

江戸時代に活躍した町火消は48組に分かれていました。繻は火事場での組が担当しているかをしめす、合図として掲げられました。では、この繻は何組のものでしょうか。

[] 組

Q2

「下肥」とは江戸時代、野菜を作るための大切な肥料でした。これにはある意外なものが原料に使われていました。何が利用されていたのでしょうか。

[]

マップE〈肥桶〉



Q3

これに草木灰やイワシを干したもの、菜種や綿の実から油をしぼった残りがすなどを加え、肥料を作っていました。千両箱は、小判を入れるための箱です。小判1000枚を入れた千両箱の重さはおよそどのくらいでしょうか。

[] kg

マップE〈千両箱〉



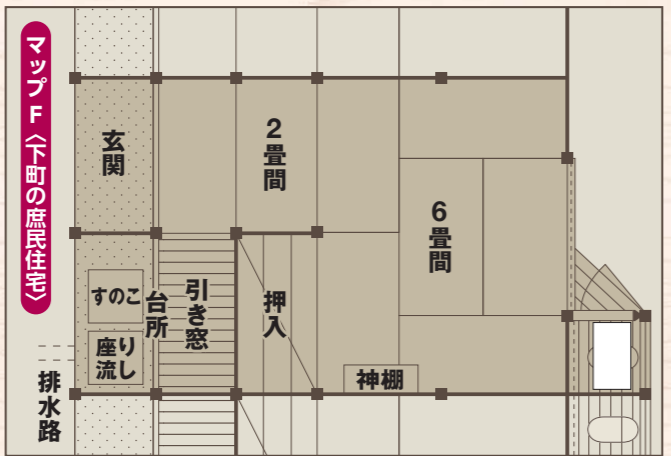
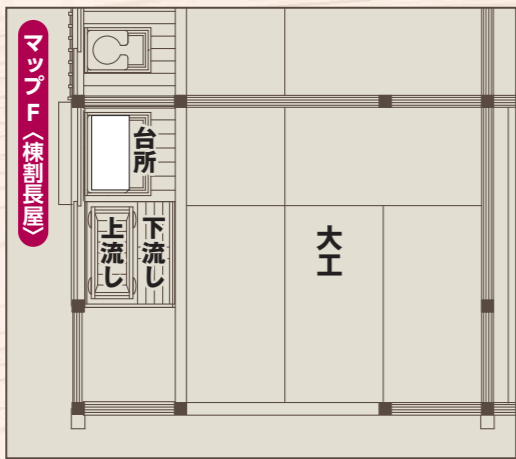
F 江戸住まい拝見

くらべてみよう

ガスや電気がなかった時代、人々はどのような生活を送っていたのでしょうか。また、暮らしのスタイルはどのように変わっていったのか、江戸時代の町人が住んでいた「棟割長屋」模型(江戸ゾーン)と、昭和初期の「下町の庶民住宅」模型(東京ゾーン)をくらべてみましょう。

Q1

「棟割長屋」と「下町の庶民住宅」の模型や模型解説にある見取り図をよく見て、
[]に当てはまる言葉を書き込みましょう。



マップF〈棟割長屋〉

マップF〈下町の庶民住宅〉

Q2 それぞれの家にある道具について、何に使うものか考えてみましょう。



[]



[]



[]

G 絵草紙屋と三井越後屋

くらべてみよう

◆ 絵草紙屋

江戸時代には、浮世絵が大衆文化として流行しました。絵草紙屋では、主に浮世絵などが販売され、人気がありました。この模型は、和泉屋市兵衛の店(甘泉堂)を復元したものです。



マップG〈絵草紙屋〉

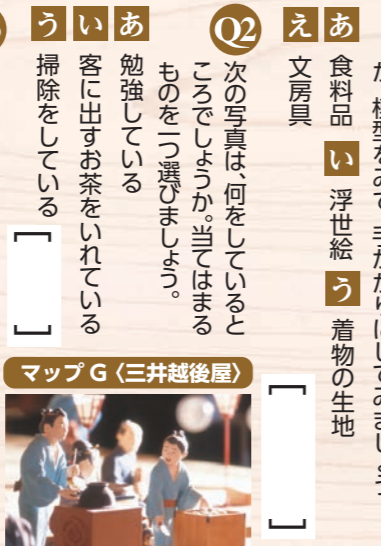
Q1

絵草紙屋で主に売られていたものは、浮世絵のほか何がありますか? 当てはまるものを二つ選びましょう。

あ 書籍
う 下駄
い かんざし
え 文房具

◆ 三井越後屋

三井越後屋は伊勢松坂(現在の三重県)の商人の子・三井高利が1673年、江戸に開いたお店で、現在の三越百貨店の前身です。商売上手だった彼は江戸一番の大商人になりました。



マップG〈三井越後屋〉

Q2

次の写真は、何をしているところでしょうか。当てはまるものを二つ選びましょう。

あ 勉強している
い 客に出すお茶をいれている
う 掃除をしている

Q3

次の写真では、客と店の者が相談しながら、商品を選んでいきます。その天井に吊り下げられている紙には、何が書かれていますか。

あ 商品の名前
い 各売り場の担当者の名前
う 客の名前



江戸時代のお店をのぞいてみよう